

2011年掘削、国際学会、国際会議等の動向

国際対応幹事
極地研・融合センター、植竹

2011年9月19日月曜日

極域アイスコア掘削

1 : North Greenland Eemian Ice drilling (NEEM)

デンマーク大学による、グリーンランド深層アイスコア計画。

2 : 南極ドームA (崑崙基地) 深層掘削計画

中国による南極深層掘削

現状：基地の居住棟、深層掘削場の建設終了

*深層掘削システムの主要機器は日本（地球工学）から購入。6月に上海で掘削実験を実施。

今後の予定：

2011/2012夏：パイロット孔掘削とケーシング埋設

2012/2013夏から夏3シーズンで深層掘削（約3100mくらい??）

3 : West Antarctic Ice Sheet (WAIS) Divide Ice Core

アメリカによる南極での深層掘削計画

3330mまで掘削予定??(HPより)

<http://waisdivide.unh.edu/>

U.S. Ice Drilling Program（NSFが出資）がサポート

U.S. ice coring and drilling research communitiesと連携した科学と、掘削技術の育成と維持

新技術の開発、テクノロジー開発基金の探索、ドリルと専門家の供給、公流と情報交換の強化

<http://www.icedrill.org/index.shtml>から申請が可能。

2011年9月19日月曜日

国際学会、集会の動向

終了したもの

1 : Flagship initiation workshop: Glaciers in Kongsfjorden

'Ny-Ålesund glaciology - future opportunities & constraints'

2011年5月30日-6月1日、トロンソ、ノルウェー

海洋、大気、陸上生物のフラグシップ計画は、すでに出版

次なるフラグシップとして雪氷を立ち上げる予定。

これから

2 : AGU(American Geophysical Union)

AGU FALL Meeting

2011年5-9日、サンフランシスコ

3 : EGU(European Geoscience Union)

European Geosciences Union General Assembly 2012

2012年4月22-27日、ウィーン、オーストリア

2011年9月19日月曜日

国際学会、集会の動向

4 : IPICS (International Symposium on Ice Core Science)

The first Open Science Conference

2012年10月1-5日、ジアン(Giens), フランス

deep drillings such as EPICA, WAIS, NEEM, TALDICE, ... but also shallow drillings in Antarctica and Greenland. Other ice core drilling projects conducted in non-polar glaciers or in other Arctic sites are also welcome.

レジストレーション：未定（2012年2月くらいから）

Scientific committee（川村さん）

<http://www.ipics2012.org/>

5 : International Symposium on Mountain glaciers, ice caps and ice sheets in a warming climate

2012年6月25-29日、フェアバンクス、アラスカ

1. Observations of glacier change
2. Glacier mass balance - climate interaction
3. Ice dynamics
4. Glacier-ocean interactions
5. Role of subglacial processes in glacier changes
6. Ice sheet modelling
7. Future projections
8. Impacts of glacier changes
9. Proxies and modelling of past glacier changes

2011年9月19日月曜日

国際機関の動向

1 : IASC (International Arctic Science Commission)

2011年1月11-14日、ドイツ・ポツダム

国際的な北極研究の提案をする会議。

今回から5つのワーキンググループWG（大気、海洋、雪氷、陸域、社会）を設置。

日本からは雪氷分野は大畑さん、榎本さんが参加。大畑さんが副委員長に選ばれた。

4つの分野に分かれての推進すべき研究についての討論された。

- 1 Cryosphere as an Indicator of Environmental Change
- 2 Cryosphere as a Climate Amplifier
- 3 Role of Cryosphere in Arctic Hydrology
- 4 Biology and Biogeochemistry of Icy Environments

2 : ASSW(Arctic Science Summit Week)

北極科学研究について、各種会合が開かれる。

隔年で研究発表シンポジウムも開かれ、今年3月には会合とシンポジウムがソウルで開かれた。

来年はモントリオールで開催。

ASSWのシンポジウムはないが、IPYシンポジウムが開催される。発表申し込み締切9月30日。

2011年9月19日月曜日

国際機関の動向

3 : AFoPS(Asian Forum of Polar science)

極域研究に関するアジアの国のフォーラム。

2011年8月24-26日、インドの、ゴア（インドの極地研がある）にて第12回の会合が開催。

インド、韓国、中国、日本、マレーシアの五カ国からの参加。ベトナム、タイからオブザーバーが参加。

インドは、昨年11月にマイトリ基地より8名が4台の四輪駆動車で実施した南極点調査旅行（2010年11月22日南極点到着）、現在ラースマンズヒルズに建設中のインド第二の基地の紹介をした。

韓国は昨シーズンのアラオンによる北極海、南極海での国際共同観測韓国第二の南極基地

Jang Bogo Station建設計画の紹介。

中国はドームAの崑崙基地での氷床深層掘削の準備の紹介などがあった。

4 : SIOS(Svalbard Integrated Observation System)

2011年10月初めにLongyerabyenで総会

ノルウェーを中心にスバルバルを国際研究拠点にするための活動。日本も加盟しており、今年から活動方針について議論が開始した。

<http://www.unis.no/SIOS/>

5 : ICARP (International Conference on Arctic Research Planning)

10年ごとに北極研究提案をおこなう。前回は2005年にコペンハーゲンで開催。次回は2015年に開かれる。

2011年9月19日月曜日